

Tsuyama College		Year	2017		Course Title	国語Ⅳ
Course Information						
Course Code	0037		Course Category		General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department	Department of Mechanical Engineering		Student Grade		4th	
Term	Year-round		Classes per Week		1	
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：なし（プリントを配布），参考書：『国語便覧』，『国語辞典』（どの出版社のものでも良い）					
Instructor						
Course Objectives						
学習目的： 日本語に関する知識を拡充し，日本語力を向上させる。 様々な文書を作成する技術を習得する。 日本語による表現力を養い，コミュニケーション能力を高める。						
到達目標 １．日本語に関する知識を拡充し，多様な場面で活かすことができる。 ２．社会生活に必要な，様々な文書を作成する技術を身につける。 ３．自らの意見や考えを，適切で説得力のある言葉により，表現できるようになる。 ◎効果的な説明方法や手段を用いて，コミュニケーションを図ることができる。						
Rubric						
	優	良	可	不可		
評価項目1	敬語や文法等の日本語に関する知識を増やし，それを多様な場面で適切に運用できる。	敬語や文法等の日本語に関する知識を増やし，それを様々な場面で活用することができる。	敬語や文法等の日本語に関する知識を増やし，それを活用する努力をすることができる。	敬語や文法等の知識を増やす努力をせず，場面に応じた言葉の使い分けができない。		
評価項目2	様々な文書形式について理解し，場面に適した効果的な文書を作成することができる。	様々な文書形式について理解し，場面に適した文書を作成することができる。	様々な文書形式について理解し，指定された文書を作成することができる。	形式に沿った文書を作成することができない。		
評価項目3	様々な事象について自らの意見や考えを持ち，それを適切かつ説得力のある言葉により表現できる。	様々な事象について自らの意見や考えを持ち，それを相手に伝わる言葉で表現できる。	様々な事象について自らの意見や考えを持ち，それを自身の言葉で表現できる。	様々な事象について自らの意見や考えを持とうとせず，自身を表現する努力もしない。		
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	一般・専門の別：一般 学習の分野：国語					
	必修・履修・履修選択・選択の別：必修					
	基礎となる学問分野：人文学／文学・言語学					
	学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（３）生きるための活力と，その自由な表現力を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（F）コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，F－1：日本語による発表や討論・記述をとおして，自分の考えを相手に表現できること」であるが，付随的には，「F－2：発表や討論をとおして，相手の考えや知識の相互理解ができること」や，「D－3：課題解決のために他者と共通認識を形成しながら，組織的な取り組みができること」にも関与する。 授業の概要：前期は，日本語の力を総合的に高めるべく，講義と問題演習，確認テスト等を行う。後期は，就職や進学に向けて，日本語の表現力を高めるべく，講義と実践的な課題演習を行う。					
Style	授業の方法： 前期は，敬語や文法等の日本語表現について講義や問題演習を行い，適宜，確認テストを実施する。また，社会生活の中で必要となる文書や，文章の書き方の基本事項についても講義を行い，適宜，課題提出物を課す。 後期は，就職や進学の際に必要な文書や，社会生活において身につけておくべき日本語表現法について，講義と実践的な課題演習を行う。 成績評価方法： ・最終成績は，前期成績（50%）＋後期成績（50%）により評価する。 ・前期成績は，確認テスト（60%）＋課題提出物（40%）により評価する。確認テストは授業時に行い，詳細はその都度指示する。正当な理由により確認テストを受けられなかった者には，再テストを行う。その場合の評価は，当該の確認テストと同等とする。 ・後期成績は，課題提出物（80%）＋発表（20%）により評価する。 ・定期試験は実施しない。					
Notice	履修上の注意：本科目は，４学年の課程修了のために履修（欠席時間数が所定授業時間数の３分の１以下）が必須の科目である。 履修のアドバイス：次回の授業に向け，内容を復習し，知識の定着を図ること。課題は必ず提出すること。常日頃から，自身の日本語力やコミュニケーション能力を高める努力をすること。 基礎科目：国語Ⅰ（１年），国語Ⅱ（２），国語Ⅲ（３） 関連科目：科学技術作文（４年），人間と文学（４） 受講上のアドバイス： ・授業開始時刻に遅れた場合，20分までは遅刻，それ以降は欠課として扱う。 ・欠課する（した）場合は，欠課届あるいは公認欠課届を提出すること。確認テストは，欠課の届け出がなかった場合，当該のテストが０点となる。 ・授業に積極的に参加し，期限を守って忘れずに課題を提出すること。 ・授業中に辞書を引く場合，携帯電話やスマートフォンの辞書を使用することは認めない。					
Course Plan						
		Theme	Goals			

1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス	
		2nd	敬語の基礎	
		3rd	履歴書の書き方	
		4th	葉書や封筒の書き方	
		5th	敬語の問題演習 1	
		6th	敬語の問題演習 2	
		7th	敬語のまとめ	
		8th	(前期中間試験)	
	2nd Quarter	9th	文法の基礎 1	
		10th	文法の基礎 2	
		11th	間違えやすい文法 (ら抜き言葉, れ足す言葉, さ入れ言葉等) の問題演習 1	
		12th	間違えやすい文法 (ら抜き言葉, れ足す言葉, さ入れ言葉等) の問題演習 2	
		13th	手紙文 (縦書き) の書き方	
		14th	文章を書く際に注意すべきこと (文章構成, 文法, 表記等) 1	
		15th	(前期末試験)	
		16th	文章を書く際に注意すべきこと (文章構成, 文法, 表記等) 2	
2nd Semester	3rd Quarter	1st	ガイダンス	
		2nd	E-mailの書き方	
		3rd	ビジネス文書・添え状の書き方	
		4th	手紙文 (横書き) の書き方	
		5th	電話の応対	
		6th	自己分析とアピールポイントの抽出	
		7th	アピールポイントの自由表現	
		8th	(後期中間試験)	
	4th Quarter	9th	自己 P R 文の作成	
		10th	自由表現のプレゼンテーション	
		11th	企業研究 (就職志望者) ・大学研究 (進学志望者)	
		12th	志望動機文の作成	
		13th	時事問題の調査	
		14th	時事問題の討議	
		15th	(学年末試験)	
		16th	まとめ	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	Total
Subtotal	0	10	0	0	60	30	100
基礎的能力	0	10	0	0	60	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0